

令和7年度 射水市と市内県立高等学校との連携推進事業

新湊高校

「新湊を照らそう」

射水市出前講座で地域の魚等について学び、新湊漁港で水あげされた魚をスケッチ・水墨画で描いた灯籠を制作し、川の駅新湊で展示しました。また、新湊の曳山・築山行事のユネスコ無形文化遺産登録を祝う展示パネルも制作し、地域や生徒に向けてPRしました。

地域貢献プロジェクト～『地域のつながりを大切に』～

地域の小学生や高齢者向けのパソコン教室を商業科の生徒が講師となって開催しました。昨年からのリピーター受講もあり、今後も地域に根差した活動としてニーズに合わせた講座内容の刷新や新規参加者の獲得を目指していきます。

「地域の課題を解決！」

2学年普通科の生徒が「環境」「社会」「経済」のテーマのもとグループに分かれて地域課題解決に向けて取り組みました。「次世代につなぐ」ことを目標に、地域の保育園児へリサイクルの大切さを伝えたり、地元の魅力を紹介したカルタ大会を開催したりしました。



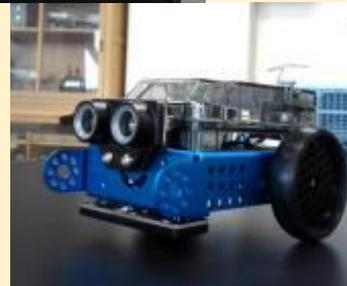
小杉高校

物理分野「日常や自然現象について物理的視点から考える」

自動運転車を観光に活用することで射水の活性化につながると考え、校内の渡り廊下を小杉駅から高校までの道路に見立てて、プログラミングを活用した自動走行の実験を行いました。

社会科学分野「若者が住みたい・住みやすい射水市」

射水市の人口動態や小杉高校3年生へのアンケートから若い世代の県外転出の理由について調査しました。また、人口増加している千葉県流山市を参考に、射水市の人口減少を抑えるための具体的な解決策として、駅前送迎ステーションや親子が交流できる場づくり等子育てと仕事を両立するための支援策を提案しました。



大門高校

Let'sトライ IMIZUSHI健康8 (エイト)

健康寿命の延伸が課題となっていることに着目し、誰でも簡単に継続できる健康体操を理学療法士の助言を受けながら青年向け・中年向け・高齢者向けの3種類作成しました。体操の動画も作成し、SNSで発信することでより幅広い年代に体操を届けたいと考えています。

学生のための相談機関を作る

射水市に学生が利用しやすい相談機関が少ないという課題に着目し、改善策を研究しました。大門高校生を対象にしたアンケートで悩みの内容等を調査し、「哲学対話会」を実際に校内で開催し対話の場の創出を提案しました。

詐欺防止アプリ開発

フィッシング詐欺の被害が年々増加していることから、技術的対策としてGmail上で動作する詐欺防止アドオンの開発に取り組みました。詐欺メールを分析し、怪しい語句や不自然な表現を検出することで、利用者に危険性を自動で知らせる仕組みを構築しました。

防災デジタルマップ制作

災害時に避難行動をとれない背景として「正常性バイアス」や「同調圧力」といった心理的要因に着目し、避難を判断できる仕組みとして避難所開設状況や被害状況を可視化するwebページ「逃げマップ」を作成しました。

逃げマップ作成の目的



デザインイメージ

- ◎各避難所の避難状況の可視化
- ◎避難所のステータス情報
- ◎掲示板による状況把握

避難時の安全な行動
住民の日常からの危機管理の向上